

製品名: IgA ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12418**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 38kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | IGHA1/IGHA2 |
| 別名 | IGHA1; Ig alpha-1 chain C region; IGH A2; Ig alpha-2 chain C region |
| 遺伝子 ID | 3493/3494 |
| SwissProt ID | P01876/P01877 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト IgA 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 227-276 |

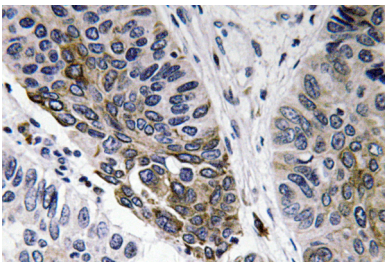
背景

疾患: 多発性骨髄腫 (MM) 細胞株において、IGHA1 遺伝子に関連する染色体異常が認められる。転座 t(1;14)(q21;q32)は、FCRL4-IGHA1 融合タンパク質を形成する。機能: Igα は、体液中の主要な免疫グロブリンクラスである。局所感染を防御するとともに、外

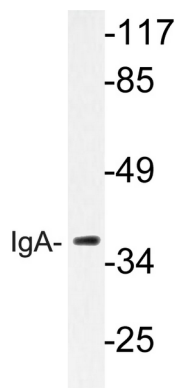
来抗原が免疫系全体に侵入するのを防ぐ役割を担っていると考えられる。、PTM: 生体液中に多く含まれる酸化トリプトファン代謝物である 3-ヒドロキシキヌレニン、 α -1-ミクログロブリンと反応して、ヒドロキサンチンを含む異種の多環式発色団を形成する。発色団はアクセス可能なシステインと反応し、Ig α 1 鎖 C 領域の Cys-352 と非還元性のチオエーテル架橋を形成する。、類似性: 3 つの Ig 様 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。、サブユニット: 単量体または多量体。、疾患: 多発性骨髄腫 (MM) 細胞株において、IGHA1 に関連する染色体異常が認められる。転座 t(1;14)(q21;q32)は、FCRL4-IGHA1 融合タンパク質を形成する。、機能: Ig α は、体液中の主要な免疫グロブリンクラスである。局所感染を防御するだけでなく、外来抗原が免疫系全体に侵入するのを防ぐ役割も担っていると考えられる。、PTM: 生体液中に多く含まれる酸化トリプトファン代謝物である 3-ヒドロキシキヌレニンは、 α 1-ミクログロブリンと反応して、ヒドロキサンチンを含む異種の多環式発色団を形成する。この発色団は、アクセス可能なシステインと反応し、免疫グロブリン α 1 鎖 C 領域 Cys-352 と非還元性のチオエーテル架橋を形成する。、類似性: 3 つの免疫グロブリン様 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。、サブユニット: 単量体または多量体。、

研究分野

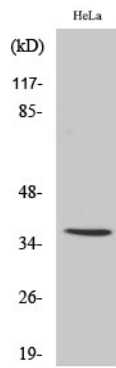
画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における IgA 抗体の免疫組織化学分析。



IgA 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



IgA ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析